

勝浦市の国民健康保険事業の運営に関する協議会会議記録

1. 日 時 令和 7 年 7 月 31 日（木）午後 1 時 30 分から午後 3 時まで
2. 場 所 勝浦市役所 2 階 201 会議室
3. 出席委員
佐藤委員（会長）、池内委員、齋藤委員、元吉委員、川俣委員、高梨委員、久我委員、戸部委員
事務局
田中市民課長、小野寺税務課長、高梨事務長、鈴木健康管理係長、原収納係長、山口課税係長、吉野国保年金係長
4. 会議次第
 1. 開会
 2. 市長あいさつ
 3. 委員紹介
 4. 会長及び会長職務代理者の選出
 5. 審議事項
 - （1）令和 6 年度勝浦市国民健康保険特別会計（事業勘定）決算見込について
 - （2）令和 6 年度勝浦市国民健康保険特別会計（直診勘定）決算見込について
 6. その他
 7. 閉会

審議事項

- （1）令和 6 年度勝浦市国民健康保険特別会計（事業勘定）決算見込について

【会長（司会）】

決算の説明が終わりました。質問はありますか。

【委員】

1 ページ目の特別会計決算見込みの国庫支出金が前年度と比べ 594 万 9,000 円増えた理由、また県支出金が 1 億 2,800 万減った理由を教えてください。

【事務局】

国庫支出金については、令和 5 年度はマイナンバーカードの周知広報にかかる費用が対象でしたが、令和 6 年度はマイナンバーカードを保険証として使うためのシステム改修費が対象になりましたので、大幅に増額となりました。

県支出金は、保険給付費に対する補助金ですが、保険給付費は令和 5 年度に比べ令和 6 年度は約 1 億減っています。保険給付費が減っているため、それに対する補助金も減額になったということです。

【委員】

7 ページの特定健康診査の受診状況について、今後受診率を上げていくために、何か方法を考えていますか。

【事務局】

まず対象者全員に周知を兼ねた通知を出して、返事が来た方については、受診の日時を指定して受診券を送付します。また昨年度受診した方には、返事が来なくとも受診することを前提に日時を指定して受診券を送付しています。

その他の返事がない方については受診勧奨をしています。

また個別健診は、毎月受診されるときに、医師の先生方からお声がけしていただいたことで、受診率がとても上がってきています。

【委員】

受診するとカードにポイントを付けることも、もう少しポイント数を上げていただくと来る方のモチベーションが上がるかもしれないのでご検討いただきたい。

【委員】

3 ページ、国民健康保険加入者が5年で約1,000人減っている一方で1人当たりの医療費は年々増加しています。

そのような状況で税率を上げるのは、あるところできっと限界がくるとと思いますが、今後の見通しを教えてください。

【委員】

市民の保険負担を増やさないようにかつ安定的にという、非常に厳しい綱渡り状態だと思いますが、課長として、見通しをお願いします。

【事務局】

加入者皆さんの負担がこれ以上増えないようにしつつ市民サービスは最大限に提供していけるように検討を重ねていきます。

【委員】

勝浦市ではマイナ保険証を持っている方は全体の何%ぐらいですか。

【事務局】

国保の被保険者では、大体3分の2程度は持っています。ただ利用しているのはそのうちの半数程度です。8月1日からは使わざるを得なくなるので、利用率は上がると考えています。

(2) 令和 6 年度勝浦市国民健康保険特別会計（直診勘定）決算見込について

【会長】

令和 6 年度勝浦市国民健康保険特別会計直営診療施設勘定決算見込みについて質疑はありますか。

【委員】

11 ページの年度別の診療収入の状況、令和 6 年度その他の診療報酬が前年度と比べても 1,106 万 5,780 円と非常に高額になっている。この理由をご説明ください。

【事務局】

令和 6 年度は 10 月から 3 月までの間に新型コロナウイルスのワクチン接種を実施し、6 ヶ月間で 309 人の方が接種を行いました。個人負担となった接種費用が診療所に入りましたので、それが主な理由になります。

【委員】

現在問題となっていることがあれば教えてください。

【事務局】

問題はないですが、課題といえば人件費がかかるということがあります。診療所直営の勘定だけで運営していきたいがなかなか難しい。

【委員】

患者数の推移について、総野地区の患者数は減ったが、他の地区からの患者数が増えて、昨年は 9,000 人を超えています。

勝浦病院だった頃は一般会計から 7,000 万円ぐらい繰入れていたが、医薬分業に変えて診療所にして、一般会計からの繰入額は 2,000 万円ぐらいになり、去年は 1,000 万円を切った。以前から考えると経営的にはかなり改善したと私は思います。

【委員】

診療所は、勝浦にとって、特に農村部の人間にとっては大変ありがたい施設だと常々思っています。街中や興津には病院がいくつもある。でも、農村部にはここしかないので、経営状況というのは大変厳しいと思いますが、地域の医療機関の宝として、これからも存続を望みます。